

「ゆんぬ」発表会



与論高等学校 1, 2 年生

授業：総合的な探究の時間

令和 2 年度与論町海洋教育

12 号

昨年度から与論町教育委員会では日本財団・東京大学海洋教育センター・笹川平和財団海洋政策研究所からの支援を受け海洋教育パイオニアスクールを導入しました。町内の小・中・高等学校が連携して行う「地域連携型」というスタイルで海を通じた学びの活動を行っています。与論町教育委員会を含め全国 10 の地域が「地域連携型」で海洋教育パイオニアスクールプログラムに参加しています。

1 月 15 日に与論高等学校で総合的な探究の時間「ゆんぬ」の校内発表会が開催されました。10 月に開催された中間発表会から約 3 か月、前回も参加して下さった 10 名の地域サポーターさんたちが見守る中、発表が行われました。



会の冒頭、教頭先生から「前は聞き手、地域サポーターさんからの一方的なインプットでしたが、1 年生は今後の研究を深めていくためにもアドバイスをもらいたい。」とお話がありました。

前回に引き続き 1 年生はグループ、2 年生は個人での発表が行われました。「テーマの設定理由」、「実態・調査内容」、「自分たちにできること」の流れで 1 年間探究学習した成果を発表しました。

1 年生のグループでは、「自分たちにできること」から、環境保全活動につながる商品アイデアがでるなど、これからの活動や、人とのつながりを通じた発展が楽しみな内容でした。



2 年生の個人発表は、よりピンポイントなテーマ設定がされていました。職業に結びつくもの、身近な人から影響を受けたもの、これまでの探究学習をさらに深めるテーマなどがありました。「環境」、「人口減少・少子化」、「医療」、「産業」、「歴史・文化」。テーマはそれぞれ違いますが、気づいた課題に対し生徒さん一人一人が考えた「提案、改善点」から「自分たちが将来生きていく与論島」がどうあって欲しいかを感じることができる内容でした。

日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

海洋教育センター
CENTER FOR OCEAN LITERACY AND EDUCATION

笹川平和財団
海洋政策研究所

<https://www.spf.org/pioneerschool/>



取材：

与論町海洋教育推進協議会事務局

取材日：2021.01.15